



異文化交流を深める取り組み ～国際交流フェスティバルと モンゴル学生親善使節～

【国際交流フェスティバル】

11月7日・8日、島田産業まつりにおいて「国際交流フェスティバル in SHIMADA」を開催しました。今年は、初めて市国際交流協会の全委員会が参加。質も内容も、より充実したものとなりました。

恒例の仮装コンテストには、20組以上の子どもたちが出場。衣装について審査員に尋ねられると「ピーターパンが好きだから」「お母さんがどこから持ってきたものを着せられた」などと応え、会場は爆笑の渦に包まれました。また会場には、本場の味を楽しめる飲食店が多数並びました。

◎出店者の声

李莉さん（中国家庭料理店）「初めての出店だったけど、とても楽しかったです。2日目はあいにくの雨で残念。でも、また来年も参加したいです」



にぎわう中国家庭料理店

【モンゴル学生親善使節来島】

10月24日から11月14日までの間、ウランバートル・ナラン外国語学校（モンゴル国）で日本語の勉強をしている6人の学生と引率教諭1人が来島しました。

学生たちは滞在中、島田第一中学校と島田北中学校に通い、在校生と共に授業やさまざまな活動に参加し、交流を深めました。日常会話をほぼマスターしている皆さんは、日本の学生ともすぐに意気投合しました。日本に来て

特に驚いたことは、日本の商店の品揃えだそうです。連日コンビニエンスストアに通い詰めては、お菓子やジュースを買い過ぎて「日本に来て3kgも太ったよ」と苦笑いする学生も。また「100円ショップ」にも大喜びで、買い物カゴいっぱい商品を購入する姿も見られました。

◎モンゴル学生の声

「日本で特に気に入ったのは、動物園と海。モンゴルには動物園がないので、初めていろんな動物を見ることができ、とても面白かったです。海を見るのも初めてで、その広さと美しさに感動しました。ぜひ、また日本を訪れてみたいです」



ナラン外国語学校の皆さん

◇ 駐日ネパール大使がお礼に訪れました ◇

ネパール国の駐日大使マダン・クマール・バッタライ氏が来庁し、ネパール募金のお礼と共に感謝状を市へ贈呈されました。大使は「ネパール地震では建物の被害が大きかった。まだまだ元の状態に戻っていないので、早急に国をあげて復興に取り組んでいきたい」と述べられました。皆さんのご協力、ありがとうございました。



バッタライ夫妻

お知らせ

島田市国際交流協会への入会は、随時受け付けています。

■ 中国の方々との交流会

▶中国出身の皆さんと、お互いの文化について語り合ってみませんか。太極拳やゲームなどを楽しみながら、交流を深めます。

とき／2月7日(日) 午前11時～午後2時

ところ／プラザおおるり 大会議室（3階）

参加費／中国の人300円、日本の人1,000円（昼食代を含む）

申し込み／事前に、電話または直接事務局へ

主催／市国際交流協会日中友好委員会



▲自己紹介する中国出身の少年
ゲームで顔中シールだらけに▶

